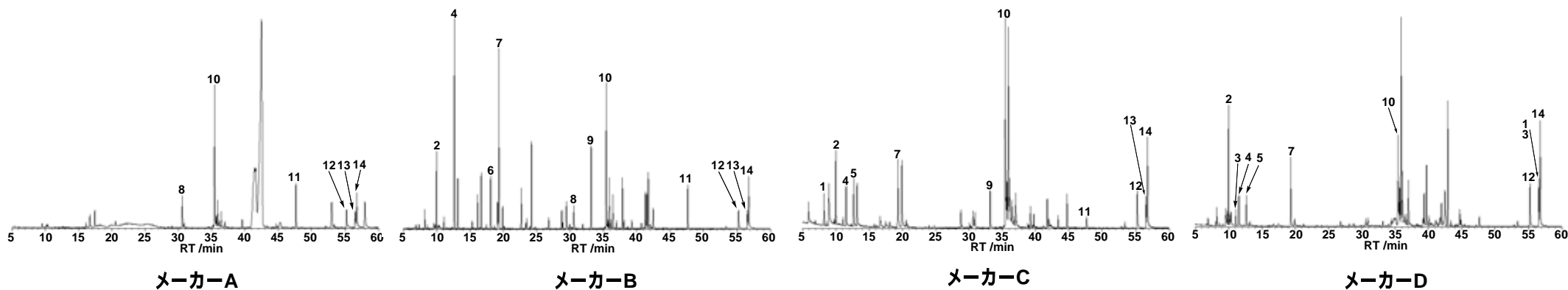


香りの化学分析

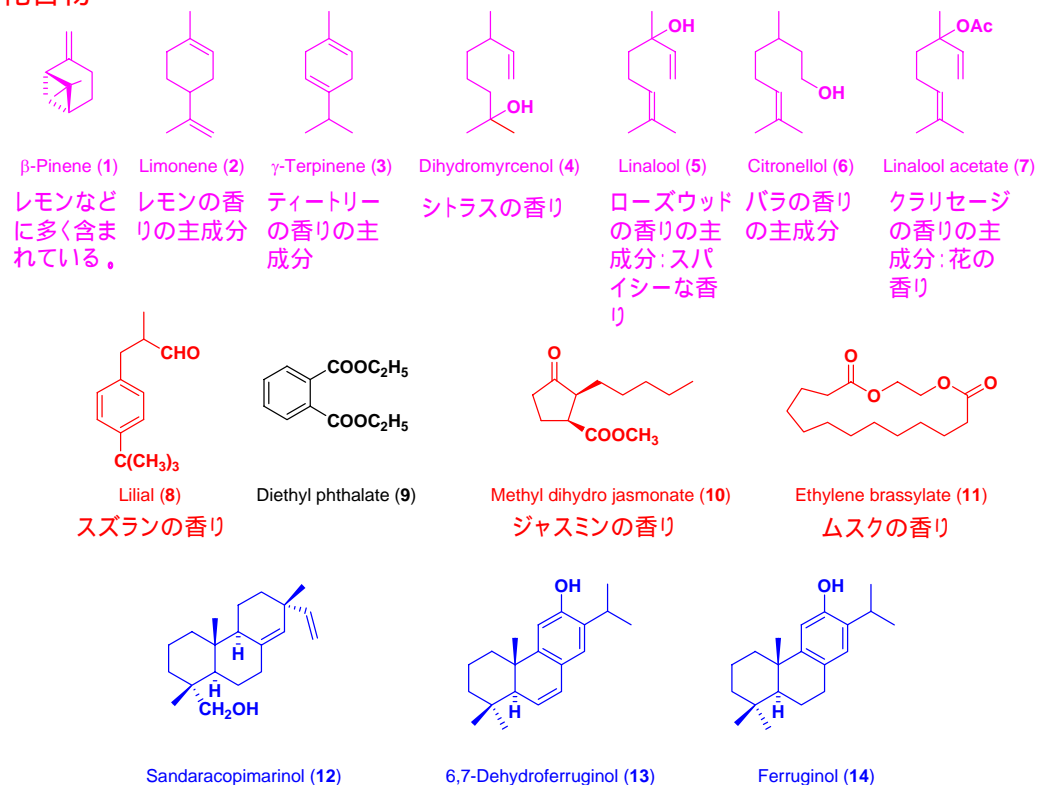
宮崎大学工学部物質環境化学科 菅本和寛・松本仁・寺尾匡史・角石衛

市販されている香水には色々な物質が含まれています。今回4つのメーカーの香水を化学分析(GCMS)しました。

分析結果



含まれている化合物



GCMSとは？

有機化合物(特に低分子量成分)の定性・定量を目的とした分析装置で、ガスクロマトグラフ(GC)と質量分析装置(MS)を結合した複合装置で香料の分析、食品の分析など沢山の物質が含まれている物の分析に使われている装置です。GCで物質を分離し、MSで分離した物質の分子量を調べます。

最初の香りと最後の香り

香料や食品業界では、これらについてトップノート、ラストノートといった表現が用いられています。トップノートは最初に感じる軽い感じのにおい、ラストノート(ディープノート)は後から感じてくる重い感じのにおいという使われ方をしています。トップノートは低沸点物質(今回の分析では番号の小さい化合物)、ラストノートは高沸点物質(今回の分析では番号の大きな化合物)で主に構成されていると考えられます。

クイズです(超難問です。)

今回分析したメーカーA~Dの香水を準備しています、実際に匂いを嗅いでどの香りがどの分析結果になったか当ててみましょう。正解者にはすてきなプレゼントを差し上げます。